

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	普及指導活動 強化促進事業	24, 021	24, 021	23, 508	17, 100		6, 408
環 境 農 業 推 進 課 ・ 普 及 ・ 産 地 づ く り 担 当	1 事業目的	産業振興計画の農業分野に掲げた「生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化」、「中山間地域の農業を支える仕組みの再構築」、「流通・販売の支援強化」、「多様な担い手の確保・育成」、「農業全体をけん引する基盤整備の推進と優良農地の確保」の実現を目指して、地域課題の解決を図るため、全国普及情報ネットワークを活用しながら、普及指導計画に基づく効果的な普及活動を推進する。					
	2 事業内容	(1) 地区農業改良普及推進協議会等の開催 (2) 地域ビジョンの策定と計画の具現化 (3) 地域課題の解決に向けたチーム活動の実施 (4) 重点課題の設定と効果的な普及活動の推進 (講習会・研修会の開催、情報の提供ほか) (5) 新規就農者の確保・育成、農家経営の改善支援 (6) 青年農業士の認定及び活動支援 (7) 「こうち農業ネット」等による情報発信 等					
	3 事業実施主体	県					
	4 主な事業実績（令和 6 年度）	普及計画に沿った計画活動の実施 (9 農業振興センター普及課・農業改良普及所 重点22課題、一般68課題) 地区農業改良普及推進協議会の開催 (9 農業振興センター普及課・農業改良普及所 延べ18回) 青年農業士の認定（9 名）					

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	植物防疫総合 対 策 事 業	33,672	32,955	35,365	13,821	(手) 140 (諸) 2,172	19,232
環 境 農 業 推 進 課 ・ 研 究 安 全 管 理 担 当	1 事業目的 植物防疫法に基づき病虫害発生予察事業を実施するとともに、安心・安全な農産物の安定生産のため、農薬の適正使用を推進する。また、肥料の品質の確保等に関する法律に基づく登録・届出事務、品質検査等、農産物検査法に基づく登録検査機関の登録、監視業務を実施する。						
	2 事業内容						
	(1) 病虫害発生予察事業 13,077 [(一)9,344 (国)3,733] 発生状況の調査に基づく病虫害の発生予測や防除対策情報を関係者に迅速に提供する。また、本県へ侵入すると被害が甚大となる病虫害について、侵入警戒調査を実施する。						
	(2) 農薬安全使用対策事業 9,336 [(一)3,940 (国)3,241 (諸)2,155] 安心・安全な農産物の安定生産のため、農薬の適正使用を推進する。						
	(3) 肥料検査事業 670 [(一)540 (手)130] 県内で生産及び流通している肥料の公正な取引と品質の保全を図るため、肥料の品質の確保等に関する法律に基づき、登録・届出事務や品質検査、販売取締り指導等を行う。						
	(4) 病虫害防除所運営 11,897 [(一)5,033 (国)6,847 (諸)17] 農作物に発生する病虫害の発生動向及び農薬安全使用指導等を含めた総合的な防除指導を担う病虫害防除所の運営を行う。						
	(5) 農産物検査事業 82 [(一)72 (手)10] 農産物の登録検査機関の登録及び監視業務を行い、農産物検査の適正な実施を図る。						
	(6) 常温煙霧登録推進事業 303 [(一)303] 省力的な防除技術である常温煙霧について、本県主要作物での農薬適用拡大を推進するため、適用拡大に必要な試験を実施する。						
	3 主な事業実績（令和 6 年度）						
	(1) 病虫害発生予察事業 ・月報、予報の公表：毎月 1 回で年12回 ・警報の発令：0 回、注意報の発令：6 回、特殊報の発令：2 回、技術情報の提供：12回						

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	持続的農業 推 進 事 業	85,516	281,423	128,854	85,452		43,402
環 境 農 業 推 進 課 ・ 環 境 担 当	1 事業目的 環境負荷軽減への転換を促進するため、化学合成農薬・化学肥料の使用量低減、施設園芸の脱炭素化、有機農業を実践する生産者組織等を支援する。						
	2 事業内容						
	(1) GAP普及推進事業 2,271 [(一)1,502 (国)769] 指導員の育成やGAP認証の取得支援により、GAPの普及を推進する。 ・農業生産工程管理推進事業費補助金 1,000 [(一)1,000] GAP認証取得への支援 補助先：農業者等 補助率：1／2以内						
	(2) 有機農業推進事業 25,907 [(一)4,406 (国)21,501] 実証ほの設置等により栽培技術の向上を図るとともに、有機農業の産地づくりの取組や有機農業推進協議会の活動を支援し、有機農業の普及拡大につなげる。 ・有機農業推進協議会負担金 886 [(一)886] 有機農業の普及と取組拡大を図るために、産官学民が連携した協議会活動を支援 交付先：高知県有機農業推進協議会 負担割合：10/10 ・有機農業推進事業費補助金 550 [(一)550] 有機JAS認定に要する経費又は有機栽培技術習得に必要な経費への支援 補助先：農業者等 補助率：1／2以内 ・みどりの食料システム戦略推進交付金 20,460 [(国)20,460] 有機農業実施計画の策定や計画の実現に向けた取組の実践に要する経費を支援 交付先：市町村 交付率：定額						
	(3) 先端技術交流事業 10,513 [(一)10,513] 生産性向上と持続可能な生産方式の両立を図るため、オランダ等から最新技術や最先端な技術を習得する技術交流等を実施。						
	(4) 環境負荷軽減促進事業 59,253 [(一)16,244 (国)43,009] 産地に適した省エネ技術、堆肥の利用技術等を検証、定着を図る取組を支援し、グリーンな栽培体系への転換、持続的な農業の実現を図る。 ・環境負荷軽減促進事業費補助金 9,500 [(国)9,500] 環境負荷の軽減を促進するために化学農薬使用量低減や脱炭素の実践等を支援 補助先：市町村 補助率：1／3以内						
	★・肥料等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金 19,187 [(国)19,187] 農業経営の構造転換に向けて、国内資源由来肥料の利用促進を図るための機器導入を支援 補助先：肥料製造事業者、2戸以上の生産者組織等 補助率：1／2以内						

- ・みどりの食料システム戦略推進交付金 14,322 [(国)14,322]

グリーンな栽培体系への転換を推進するため、各産地に適した技術を検証し、定着を図る取組を支援

交付先：協議会等 交付率：定額

- (5) IPM技術定着促進事業 4,290 [(一)2,145 (国)2,145]

化学合成農薬のみに頼らない天敵や防虫ネット、光や色を利用した防除技術の開発や現地実証等により、IPM技術の普及を促進する。

- (6) 環境保全型農業直接支払事業 26,620 [(一)8,592 (国)18,028]

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援し、環境負荷の軽減、農業が有する環境保全機能の向上を図る。

- ・環境保全型農業直接支払交付金 25,776 [(一)8,592 (国)17,184]

農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の健全な発揮を図るため、環境保全に効果の高い営農活動を支援

交付先：市町村 交付率：国1／2以内、県1／4以内、市町村1／4以内

- (7) 施設園芸燃油等高騰緊急対策給付金事務委託料(2月補正) 209,129 [(国)209,129]

燃油価格等の高騰により厳しい経営状況にある県内農業者の経営の安定を図るため、燃油やLPガス、木質バイオマス燃料等の購入費用に対して支援

3 主な事業実績(令和6年度)

- ・有機農業の産地づくりを支援(1村：みどりの食料システム戦略推進交付金)
- ・有機農業指導員の育成(20名)、有機JAS認証の取得支援(4件)
- ・天敵導入面積の拡大(施設ナス：99%、施設ピーマン：99%、施設キュウリ：28%)
- ・環境負荷軽減につながる機器や生産資材等の導入を支援(12市町村：環境負荷軽減促進事業費補助金、2件：肥料等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金)
- ・有機農業、カバークロップ栽培等の実践(15市町村：環境保全型農業直接支払交付金)
- ・オランダへの技術交流訪問団の派遣(20名)、オランダ園芸貿易&イノベーションミッション団の受入れ(18名)による交流

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境 農業 推進 課 ・ 技術 経営 担当	県産米高品質 生産推進事業	4,476	4,661	5,931		(財) 1,207 (諸) 55	4,669
	1 事業目的 主食用米の高品質安定化や酒造好適米・酒造適性米、有機栽培米など実需者ニーズに対応した多様な米生産を支援するとともに、水稻有望品種の選定及び優良種子の確保により、県産米の需要拡大を図る。 2 事業内容 (1) 主食用米、非主食用米等の生産振興 ①主食用米、飼料用米及び稲WCS等の栽培技術指導 主食用良食味米の高品質生産指導、多収性専用品種の安定生産指導 ②酒米の生産振興（土佐酒振興プラットフォームの活動支援） 「吟の夢」の高品質生産指導、酒米品評会の開催及び作付推進 新品種「土佐麗」の栽培技術の確立及び作付推進 (2) 主要農作物の優良種子の安定生産と奨励品種の決定 ①指定採種ほ場審査、生産物審査と種子栽培技術指導（6採種組織） ②水稻奨励品種決定調査（農業技術センター）及び同現地調査（12カ所） 3 主な事業実績（令和6年度） ・主食用「よさ恋美人」 作付面積：87.0 ha、1等米比率：23.7 %（※12月速報値） ・醸造用「土佐麗」 作付面積：22.5 ha、1等米比率：37.5 %（※同上） ・醸造用「吟の夢」 作付面積：72.1 ha、1等米比率：39.3 %（※同上） ・第9回高知県酒米品評会の開催（出品数：「吟の夢」84点、「フクヒカリ」12点） ・非主食用米の作付面積：1,560ha⇒（R6年産の作付面積は3月末となるので未確定）						

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	土 佐 茶 生 産 強 化 事 業	22, 242	23, 042	17, 904	17, 138		766
環 境 農 業 推 進 課 ・ 技 術 経 営 担 当	1 事業目的 中山間地域の基幹的な農産品である土佐茶の生産振興を図るため、生産者と関係団体が一体となった茶葉の品質向上や産地再編を支援し、産地の維持活性化を図る。						
	2 事業内容						
	(1) 土佐茶生産強化事業費補助金 17, 138 [(国) 17, 138]						
	①茶産地の生産の維持・拡大のための特徴あるお茶づくり及び茶園の若返りのための、 新植、台切り、改植、中切りへの支援 2, 660 [(国) 2, 660]						
	補助先：市町村						
	補助率：定額						
	②荒茶品質向上のための茶工場への機器導入への支援 6, 494 [(国) 6, 494]						
	補助先：市町村						
	補助率：1 / 2 以内						
	・中揉機						
・揉捻機 等							
③茶産地の高齢化などに対応し、作業の省力化と生産性を向上させる乗用式摘採機や自走式 茶園管理機などの導入及び機械の能力を最大限発揮させる作業道の整備への支援							
7, 984 [(国) 7, 984]							
補助先：市町村							
補助率：1 / 2 以内							
・自走式茶園管理機・作業道							
・乗用式茶園管理機 等							
(2) 土佐茶加工用燃料高騰緊急対策給付金事務委託料（2月補正） 800 [(国)800]							
燃料価格等の高騰により厳しい経営状況にある茶工場の経営の安定を図るため、製茶時に 必要な重油やL P ガスの購入費用に対して支援							
3 主な事業実績（令和 6 年度）							
・樹齢 30 年以上の茶園に対する改植・新植・台切り等による樹勢回復：茶園の若返り面積 692a							
・茶工場の高度化による荒茶品質の向上：ティーバッグ充填包装設備（津野町）、乗用摘採機 2 台 （津野町）							
・地域版茶振興計画支援：仁淀川町、津野町							

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	農 業 労 働 力 確保対策事業	20, 579	14, 529	19, 583	1, 410		18, 173
環 境 農 業 推 進 課 ・ 労 働 力 確 保 担 当	1 事業目的 地区内外の労働力の掘り起こしによる効果的なマッチングや援農者の受入体制の強化、農作業現場へのカイゼン方式の導入、農福連携の推進及び外国人材の受入れ等に取り組み、労働力の確保と農業経営の発展を図る。						
	2 根拠法令等 職業安定法、出入国管理法						
	3 事業内容 ◎（１）農業労働力確保対策事業費補助金 12, 754 [(一) 12, 051 (国) 694] 補助内容：産地全体での労働力確保のための地区内外の労働力調整や、県内外からの援農者の確保、JA集出荷場へのカイゼン方式の導入及びJA無料職業紹介所の体制強化等の取り組みに対して補助 アルバイター等の募集、宿泊施設や作業環境の整備、サポート隊の設置 集出荷場へのカイゼン方式の導入、先進地視察研修の実施、 労働力確保対策専任職員の配置とスキルアップ研修への参加 農作業ヘルパーの実証 等 補助先：市町村、JA等 補助率：1／2 以内、1／3 以内						
	(２) 農福連携推進事業委託料 993 [(一) 993] 委託内容：農福連携を推進するため、福祉作業所指導員や障害者等を対象とした農作業体験会、試行的な障害者の受入れ（お試し就労）の実施を委託 委託先：（一社）高知県農業会議						
	(３) 農福連携の推進 ①農福連携技術支援者育成研修（農業版ジョブコーチ）の開催 ②農家を対象とした障害特性等に関する研修会の開催 ③就労定着サポーターによる長期就労に向けた支援						
	(４) 経営体への「カイゼン」指導 694 [(一) 694] 経営発展に意欲を持つ経営体への普及員による「カイゼン」指導						
	4 主な事業実績（令和 6 年度） ・ JA無料職業紹介所によるマッチング（320件：12月末現在） ・ 県外アルバイターの確保（JA四万十センター：16名） ・ 地域間での労働力循環（芸西⇄香我美・山田・種苗C・ビニル加工場、安芸⇄ゆず集出荷場） ・ 農福連携を推進するための研修会（15回）、農作業体験会の開催（18回）※ 1月末現在						

(単位：千円)

課名等	事業名	令和6年度	令和6年度	令和7年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	スマート農業推進事業	30,469	30,469	38,150	35,200		2,950
環境農業推進課・労働力確保担当	1 事業目的 作物の栽培管理や防除等にスマート農業技術を活用することで、さらなる労働生産性の向上や高品質化、情報管理の一元化などを図り、生産現場のスマート農業技術の普及拡大を支援する。						
	2 事業内容						
	◎（１）スマート農業推進事業費補助金 35,200 [(国)35,200] 補助内容：省力化や生産性の向上を図るために防除用ドローンや自律・リモコン式草刈機等の導入経費等を支援する。 補助先：市町村 事業実施主体：農業経営体、農業生産組織、農作業受託組織、農業支援サービス事業体等 補助率：1／3以内、1／2以内						
	（２）スマート農業セミナー、実演会等の開催 関係機関、農業機械メーカー等と連携したセミナーの開催 研究機関等に導入した防除用ドローンを活用した普及員による実証や実演会等の開催						
	3 主な事業実績（令和6年度）						
	・スマート農機展示・実演会（1回：130名）						
	・防除用ドローン等を活用した普及員等による実証や実演会（14回）						
	・ドローンによる防除面積： 1,064ha（令和3年）→1,325ha（令和4年）→1,335ha（令和5年）→2,194ha（令和7年2月時点）						
	・農業経営体への導入支援（防除用ドローン：9機、リモコン式草刈機：16台）						

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環 境 農 業 推 進 課 ・ 研 究 安 全 管 理 担 当	ネクスト次世代型施設園芸農業推進事業	56, 889	54, 768	34, 498	21, 546		12, 952
	1 事業目的						
	多様な園芸作物の生理・生態情報を可視化する「IoP（Internet of Plants）」などの最先端の研究により、次世代型施設園芸システムを「Next次世代型」として飛躍的に進化させる。						
	2 事業内容						
	(1) 試験研究費（実施主体：農業技術センター、農業技術センター果樹試験場）						
	①データ駆動型農業実現のためのIoPクラウド上ビッグデータの解析と実用性評価（1課題）						
	②光合成・生育・収量の評価・予測・調節のためのIoPシステム構築と検証（2課題）						
	③温室の省エネ温度管理技術の開発（1課題）						
	④病虫害発生分子/生態基盤に基づいたIoPを活用した持続性ある病虫害管理システムの構築（1課題）						
	⑤IoPを活用した施設園芸における温室効果ガスの排出抑制技術の開発（1課題）						
(2) 試験研究委託料		4, 000	〔(一)1, 000 (国)3, 000〕				
ハウス内環境等のデータ解析や病害発生予測に係る研究について、農研機構（農業情報研究センター）に研究業務を委託							
(3) システム構築等委託料		13, 249	〔(一)3, 313 (国)9, 936〕				
IoPクラウド研究環境やハウス情報収集ネットワークシステム等の保守、また、温室効果ガス試算ツール構築の開発等の開発を民間企業や大学に委託							
3 主な事業実績（令和 6 年度）							
・促成ピーマンの光合成量に基づいた炭酸ガス濃度及び日中の温度管理技術を開発							
・ナス黒枯病の発病予測システムを開発							
・IoPクラウド（SAWACHI）活用者のJA出荷量データを分析							
・ハウスミカンの最適な生育ステージ別の炭酸ガス施用濃度を解明							

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	女性活躍推進事業	21,252	11,752	21,041	18,000	(諸)946	2,095
環 境 農 業 推 進 課 ・ 技 術 経 営 担 当	1 事業目的 女性の活躍や社会参画、働きやすい環境づくりを推進するため、女性農業者を対象とした研修会や交流の実施、女性グループの活動支援、男性農業者を対象とした女性活躍の理解促進を行うとともに、女性が働きやすい環境を確保するための施設の改修・設備導入などを支援する。						
	2 事業内容 (1) 農業就労環境整備事業費補助金：18,000 千円 [(国)18,000] 女性活躍推進や女性が働きやすい環境を確保するための施設の改修・設備導入や補助器具の導入を支援する。 ① 補助先：認定農業者、認定新規就農者、農村女性リーダー、青年農業士、指導農業士、「働きやすい環境づくり」の項目を盛り込んだ家族経営協定を締結している経営体 ② 補助対象：衛生管理設備（トイレ、手洗い場等）の整備、福利厚生設備（休憩スペースや更衣室の整備に必要な資材等）の整備、高さが調整できる作業台、アシストスーツ等の整備、託児スペースの整備、就業規則等関連規定の作成 等 ③ 補助率：1／2 以内、2／3 以内						
	(2) 女性活躍の推進 ・女性農業者を対象とした研修会や交流の実施 ・女性グループの活動支援 ・男性農業者を対象とした女性活躍の理解促進						
	3 主な事業実績 (1) 就労環境の整備 22経営体 (2) 働きやすい環境づくり、労務管理研修会研修会の開催（3回） 女性農業者を対象とした先進事例研修・交流（3回） 女性グループの活動支援（9 農業振興センター普及課・所：延べ27回）						
	4 その他の事項 当事業では、年間のうち一定期間以上、女性又は若者（34 歳以下）を臨時雇用している又は雇用予定である農業経営体（認定農業者、認定新規就農者、農村女性リーダー、青年農業士、指導農業士、「働きやすい環境づくり」の項目を盛り込んだ家族経営協定を締結している経営体）を対象としているため、常時雇用をしている農業経営体については、「働きやすい環境整備事業費補助金（雇用労働政策課）」を活用する。						

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	農業試験研究費	279,058	241,302	301,860	580	(財)10,008 (諸)85,504	205,768
環 境 農 業 推 進 課 ・ 研 究 安 全 管 理 担 当	1 事業目的 競合に打ち勝つ高知ブランドを再構築するために県内で栽培されているナス類、ピーマン類、ショウガ、ミョウガ、早期水稻、特産花き、土佐文旦、ユズ、茶などの主要品目の新品種の育成、高品質安定多収生産につながる栽培技術、品質保持、有機栽培、環境負荷軽減に関する技術などを開発する。						
	2 事業内容（47 課題） （1）新品種の育成等に関する研究 農業技術センター：8 課題 果樹試験場：2 課題 茶業試験場：1 課題						
	◎（2）高品質安定多収生産技術・鮮度保持技術の開発に関する研究 農業技術センター：16 課題（うち〔新〕若者の就農促進につながる技術開発：1 課題） 果樹試験場：6 課題 茶業試験場：4 課題						
	（3）有機栽培技術の開発に関する研究 農業技術センター：1 課題 果樹試験場：1 課題 茶業試験場：2 課題						
	（4）環境負荷を軽減する農業技術の開発に関する研究 農業技術センター：5 課題 果樹試験場：1 課題						
	3 事業実施主体 農業技術センター、農業技術センター果樹試験場、農業技術センター茶業試験場						
	4 主な事業成果（令和 6 年度） ・施設トマトで発生するホモプシス茎腐病の防除技術を開発。 ・非辛みシシトウ品種（ししまろ）は低夜温条件でも慣行と同等の収量・品質となることを確認。 ・「高知なす」品種とその親系統のコリンエステル含量が機能性表示の有効含量以上であることを確認。 ・無核性ブンタンの露地栽培での機能性フィルム等を用いた果実の貯蔵性及び施設栽培での加温開始時期別の収穫適期等を解明。 ・茶における肥効・収量・品質は有機質肥料と化学肥料との間で差がないことを確認。						